

2024年度事業計画

<公益財団法人電通育英会の事業目的の確認(定款第3条より)>

この法人は、優秀でありながら経済的理由により修学が困難な、日本国内で学ぶ大学生・大学院生に対する奨学金の給付を行うとともに、育英に関する調査研究・情報提供および大学生等の人材育成活動に対する助成事業を行い、もって社会を牽引する人材を育成することを目的とする。

<2024年度事業計画について>

重点施策

- ・奨学生採用数の拡大、海外留学・活動支援の拡充
- ・奨学生、OBOG交流促進施策の強化
- ・奨学事業を支える新奨学生データベースの構築
- ・助成事業の対象地域拡大、助成スキームの継続的向上

1-1 大学生への奨学金給付事業 <公益事業1>

(1)大学生への奨学金給付(高校時予約採用)

2024年度の大学進学予定者の募集・選考の結果、採用内定者とした98名、及び前年度に内定している一浪生10名を合わせた108名の内定者のうち、2024年4月に当財団指定の大学に入学した者に対し、2024年度採用者として奨学金の給付を開始する。

2024年度は、100名の採用を見込んでいる。(過去3年間に採用された289名と合わせて389名を見込む。)

<大学奨学生の採用推移> *2024年度採用(1年生)は想定人数。

	一般枠
2021年度採用(4年生)	89名
2022年度採用(3年生)	99名
2023年度採用(2年生)	101名
2024年度採用(1年生)	100名*
2021~2024年度の採用数合計	389名

★大学生 奨学金(入学一時金30万円・受験等助成金10万円を含む)

2023年度予算	2023年度実績見込	2024年度予算
3億5,584万円	3億5,752万円	3億6,676万円

<2024年度予算増加要因>:募集人員拡大により採用増を見込むため

(2)大学奨学生を対象とした「海外留学・活動支援金」の給付

奨学生が広い視野を持ち、グローバルに活躍できる人材として成長する一助となることを目的に、2014年度に「海外留学・活動支援制度」を開始。2021年度からはコロナ禍によって海外渡航が制限されている状況に鑑み、オンライン留学への支援を拡充した。2024年度は活動費、渡航費の改訂による支援の拡充を図る。

★大学生 海外留学・活動支援金

2023年度予算	2023年度実績見込	2024年度予算
1,400万円	2,166万円	2,300万円

<2024年度予算増加要因>:コロナ禍後の海外活動の活性化による大幅人員増のため

1-2 大学院生への奨学金給付事業 <公益事業1>

(1)大学院生への奨学金給付

電通育英会大学奨学生に対して2024年度の大学院進学予定者の募集を2023年2月に行い、奨学生選考委員による書類選考および面接選考の結果、35名を内定とした。その内5名が就職・不合格により辞退、1名が9月入学のため、2024年度進学の内定者は29名(文系6名・理系20名・芸術系3名、男性15名・助成4名、4年27名・3年2名)となった。他早期進学者9月入学1名(理系・女子・3年)については、合否が2024年7月の予定。結果、最大30名が2024年度正式採用予定。2024年度は、2023年度採用37名と合わせて67名となる。(2023年度の大学院奨学生37名から7名減)

また、2025年4月大学院進学希望者の募集・選考作業は、下記のとおり実施する。

- ①給付対象：・当財団の大学奨学生で、書類提出やセミナー参加などの奨学生の義務を果たしていること
・キャリア形成上、修士課程への進学に必然性が認められる者
・成績優秀で、かつ学費の援助が必要と認められる者
- ②採用者数：40名程度
- ③給付金額：月額8万円(最長2年間給付)
- ④選考方法：大学3年生対象に2024年2月に募集
5月奨学生選考委員による書類選考と面接選考、6月に理事長が内定決定。
2025年4月に当財団指定の大学院に進学した者を奨学生として採用。

★大学院生 奨学金

2023年度予算	2023年度実績見込	2024年度予算
5,376万円	4,784万円	6,528万円

<2024年度予算増加要因>:奨学生の増加に伴う。

2021年度から理系学生も対象となり大学院進学者が増加。

(2) 大学院奨学生を対象とした「海外留学・活動支援金」の給付

奨学生が広い視野を持ち、将来、グローバルに活躍できる人材として成長する一助となることを目的に、2014年度に「海外留学・活動支援制度」を開始。2021年度より大学奨学生と同様に、オンライン留学への支援を拡充した。2024年度は活動費・渡航費の改訂による支援の拡充を図る。

★大学院生 海外留学・活動支援金

2023年度予算	2023年度実績見込	2024年度予算
300万円	346万円	300万円

<参考> 今後3年間の奨学生数の拡大計画

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
大学奨学生	376名	389名	405名	411名
大学院奨学生	60名	67名	70名	80名
合計	436名	456名	475名	491名

2. 奨学生対象のセミナー等の実施 <公益事業1>

(1) 奨学生全員に対する「奨学生の集い」の実施

2024年度も引き続き東京ドームホテルにて11月に実施する。

- ・参加者：現役奨学生全員(約400名)、OBOGの参加希望者、大学関係来賓、電通育英会役員、奨学生選考委員
- ・講演：未定
- ・開催日：2024年11月30日
- ・会場：東京ドームホテル

★「奨学生の集い」関連費 *奨学生の交通費含む

2023年度予算	2023年度実績見込	2024年度予算
1,796万円	1,692万円	2,023万円

<2024年度予算増加要因>：奨学生増加に伴う参加者増加による会場費・運営費の増加。
セミナー会場等の値上げに伴う増加。

(2) 大学1年生セミナーの実施

大学1年生セミナーは昨年に引き続き、奨学生同士の交流を強化すべく9月に2泊3日の合宿形態で実施する。コミュニケーション・スキルやアイデア発想力の育成などをテーマとして、グループ討議、プレゼン演習並びに奨学生同士の交流・懇親を図り、次世代人材を育成する一助とする。カリキュラムについては、次世代リーダーシップ人材育成の観点から検討を行う。

1年生セミナー：コミュニケーション研修

- ・講師：電通コピーライター 勝浦雅彦氏、電通アイデア創発ユニット ハツデンメンバー 若干名
- ・開催日：2024年9月14日(土)～16日(月・祝)
- ・会場：L stay&grow 南砂町(東京都江東区)

★「大学1年生セミナー」関連費 *奨学生の交通費含む

2023年度予算	2023年度実績見込	2024年度予算
1,048万円	886万円	1,028万円

<2024年度予算変動要因>:セミナー会場等の値上げ、講師料の減少。

(3)大学2年生セミナーの実施

大学2年生セミナーは例年通り9月に1泊2日の合宿形態で実施する。奨学生にとってこれからの武器となる個性を使ったアイデア発想力を培うセミナーであり、奨学生同士の交流・懇親を図るための

グループ作業や懇親会を行っていく。

2年生セミナー:アイデア発想力養成研修

・講師 : Creative Project Base 倉成英俊、電通 B チーム講師 若干名

・開催日 : 2024年9月7日(土)~8日(日)

・会場 : L stay&grow 南砂町(東京都江東区)

★「大学2年生セミナー」関連費 *奨学生の交通費含む

2023年度予算	2023年度実績見込	2024年度予算
786万円	606万円	777万円

<2024年度予算変動要因>:セミナー会場等の値上げ、運営費の減少。

(4)大学3年生セミナーの実施

次世代リーダーの人材育成支援として、大学3年生に対しては自らのキャリアデザインに関するセミナーを、就活時期に合わせて5月に1泊2日の合宿形態で実施する。活躍する社会人と接する機会を設けるべく電通育英会OBOGに参加いただく。

大学3年生セミナー:自己分析とキャリアデザイン研修

・講師 : WiLL Institute 熊谷智宏、田中杏奈

・開催日 : 2023年5月18日(土)~19日(日)

・会場 : L stay&grow 南砂町(東京都江東区)

★「大学3年生セミナー」関連費 *奨学生の交通費含む

2023年度予算	2023年度実績見込	2024年度予算
725万円	565万円	738万円

<2024年度予算増加要因>:奨学生・参加OBOG増加、並びにセミナー会場等の値上げに伴う増加。

(5)大学院生セミナーの実施

大学院生に対しては思考する際の多様な視点を身につけ、課題の再定義を体験し、アイデアの創出力をつけるセミナーを実施する。実施時期は奨学生セミナー開催時期の分散化のために6月とする。

大学院生セミナー :次世代リーダーを意識したアイデア創造のための研修

・講師 : Hotchkiss 水口克夫氏、笠井成樹氏

・開催日 : 2023年6月29日(土)~30日(日)

・会場 : L stay&grow 南砂町(東京都江東区)

★「大学院生セミナー」関連費 *奨学生の交通費含む

2023年度予算	2023年度実績見込	2024年度予算
660万円	408万円	693万円

<2024年度予算増加要因>:奨学生増加、並びにセミナー会場等の値上げに伴う増加。

(6)修了生交流会

2025年3月に卒業・修了予定の大学・大学院奨学生を対象として東京会場にて実施する。卒業・修了後の各界での活躍を期待して、当財団の選考委員とともに電通育英会OBOGも参加し、電通育英会ネットワークによる以後の交流を図る。

- ・参加者:卒業・修了予定の奨学生(約110名)、OBOGの参加希望者、奨学生選考委員、
- ・開催日:2025年3月中旬
- ・会 場:帝国ホテル(予定)

★「修了生交流会」関連費 *修了生の交通費含む

2023年度予算	2023年度実績見込	2024年度予算
774万円	750万円	908万円

<2024年度予算増加要因>:会場費、運営費増加のため。

(5)つながりの創出強化のための「&i」コミュニティスペース運営と「奨学生交流支援制度」

電通育英会の奨学生限定サイトは奨学生の交流サイトとして「&i」コミュニティスペースを2021年12月にオープンした。運営面では、奨学生の声を反映し奨学生がリードする交流促進を目指して、奨学生による協力チーム「コミュニティー・リーダー(CL)」を募集し、常時7名~10名を採用して、「&i」を拠点としたCLによる奨学生同士の情報発信や交流促進の活動を展開した。2年間の試行錯誤を経て、奨学生交流会や、進路を悩む大学生に対する大学院奨学生との接点づくり、

加えて奨学生OBOGとの交流などさらなる活性化を目的に活動している。

2024年度は、CLを主体とした奨学生同士の交流活動の促進を目的として「奨学生交流支援制度」*を 導入し、各種交流活動促進に努める。

*「奨学生交流支援制度」:4名以上(検討中)の奨学生同志の交流機会に対して@3000円程度の

補助金を支給する。参加者全員を確認できる懇親会写真を&iにアップして、領収書を提出するなどの 条件を検討中。まずはCL主催の懇親会にてテスト導入を行う。

★&iコミュニティスペース関連費

2023年度実績見込	2024年度予算
480万円	580万円

<2024年度予算増加要因>:「奨学生交流支援制度」導入に伴う増加。

3. 新奨学生データベースの導入とマイページ連携の実現<公益事業1>

2006年に構築された現奨学金管理システムの老朽化により、セキュリティリスクの観点から2023年度、全面的な改修を行った。システムの全面改修にあたり、ゼロベースでシステム構築の目的そのものを見直し、奨学金を管理するためのシステムから奨学生一人一人の顔の見える奨学生の人材データベース構築を行うこととした。2025年度の採用業務(2024年4月)から活用する予定。

今年度は同時に実施できなかったマイページの改修を行い、新奨学生DBとマイページとを連携させることで奨学生情報の一元化をはかる。

奨学金管理システムリニューアル設備投資予算

2023年度改修費実績見込	2024年度予算
2,672万円	1,000万円

<2024年度予算変動要因>:23年度は新奨学生DBの構築、24年度はマイページの全面改修が主。

4. 大学教育における人材育成に役立つ調査データ・情報の提供 <公益事業1>

(1) 会報誌「IKUEI NEWS」の発行(年4回)

奨学生や高等教育関係者への有益な情報提供を目的に、会報誌「IKUEI NEWS」を年4回発行。奨学生(OBOG含む)、大学関係(学長・広報)、対象高校に加え、全国の図書館、新聞社、教育研究機関等に向けて各号約4,500部を配布。

昨年より奨学生がメディアクルーとして、各号の取材やコメントに協力している。

2024年度は「学びの喜びを広げる」を年間テーマに各号の特集は以下のとおり。

	発行月	特集テーマ
Vol.106	2024年4月	“芸術”に触れる
Vol.107	2024年7月	“テクノロジー”を探る
Vol.108	2024年10月	“歴史”から学ぶ
Vol.109	2025年1月	“本”に読む

★会報誌関連費

2023年度予算	2023年度実績見込	2024年度予算
4,000万円	3,919万円	3,900万円

<2024年度予算変動要因>23年は60周年記念別冊あり。その他、メディアクルー運営費用、印刷費などの上昇を反映

(2) 調査研究

2024年度は、以下2件の調査研究を実施する予定。

- 1 桐蔭学園(桐蔭学園 理事長/桐蔭横浜大学 教授 溝上慎一氏)と共同で実施するトランジションに関する調査研究

「主に高校生・大学生・若年成人(主に初期キャリア期の20代社会人)を対象とした学校から

仕事・社会へのトランジション(移行)に関する調査研究」

共同研究者 武田佳子教授(桐蔭横浜大学)/登本洋子准教授(東京学芸大学)
/溝口侑専任講師(桐蔭横浜大学)

- 2 立教大学(経営学部 中原淳研究室 教授 中原淳氏)と共同で実施するトランジションに関する調査研究

「学校から仕事・社会へのトランジションに関する研究推進の一環として若年労働者の初期キャリア形成に関する研究」

共同研究者 畑野快准教授(大阪公立大学)／田中聡准教授(立教大学)
 ／池田めぐみ助教(東京大学)／塩川太嘉朗(立教大学)
 ／伊勢坊綾(昭和女子大学)

★調査関連費

2023年度予算	2023年度実績見込	2024年度予算
1,364万円	1,232万円	1,270万円

<2024年度予算変動要因>：立教大学の調査研究プロジェクト費用の減額。

(3)「リーダー育英塾」

「高大社連携を意識したトランジション教育改革」を教育界で推進していく「次世代リーダー」の育成を目的に、2018年から「リーダー育英塾」を開始。第1期生(2018年)から第5期生(2023年)まで 181名*のOBOGを輩出。*第3期生(2021年)42名はオンライン開催
 2024年度は第6期リーダー育英塾の開催とともに、OBOGアルムナイ活動の定着のための企画を計画している。

<第6期リーダー育英塾>

- ・日程／2024年8月10日(土)～12日(月) <2泊3日の合宿>
 - ・会場／L stay&grow 南砂町(東京都江東区)
 - ・募集対象者／教育現場を持っている、高校又は短期大学・大学等の教職員30名程度
 - ・募集方法／3月下旬より電通育英会ホームページにて募集を開始予定(事前課題有)。応募締切は4月下旬を予定。選考は講師およびファシリテーター。
 - ・参加費／ 無料(ワークショップ・宿泊・食事・懇親会に関わる費用)
 ※交通費、会場でのOA備品等のレンタル等、個人に関わるものは自己負担
 - ・監修・講師／溝上慎一(桐蔭学園 理事長／桐蔭横浜大学 教授)、
 中原 淳(立教大学 経営学部 教授)
 - ・外部講師／楠見 孝(京都大学大学院教育学研究科 教授)
- ※OBOGアルムナイ活動として、8月11日(日)OBOGオリジナル企画を行い、翌12日(月)に第6期リーダー育英塾へ合流する企画を計画中。およそ50名前後のOBOG参加者を見込む。

また、リーダー育英塾の活動を教育関係者と広く共有するためのカンファレンスを、以下のとおり開催する予定。

<リーダー育英塾カンファレンス2024>

- ・日程／2024年12月15日(日) オンライン開催
- ・テーマ／生成AIと教育に関わるテーマとして、詳細は未定
- ・内容／基調講演およびリーダー育英塾の活動・成果報告とディスカッション他
- ・募集対象者／中学校・高等学校・大学等の教職員および教育関係者(企業の人材育成関係者等)200名程度
- ・募集方法／電通育英会ホームページにて募集予定
- ・監修／溝上慎一(桐蔭学園 理事長／桐蔭横浜大学 教授)、中原 淳(立教大学 経営学部 教授)
- ・講師／美馬のゆり(はこだて未来大学 システム情報科学部 教授)*、
 他1名、教育現場での生成AI実践者を検討中
 * 電通育英会評議員

★リーダー育英塾関連費

2023年度予算	2023年度実績見込	2024年度予算
1,016万円	728万円	975万円

<2024年度予算減少要因>:セミナー会場等の値上げに伴う増加。OBOGアルumni活動の費用が増加。
カンファレンスはオンラインに固定し減額。

5. 学生を対象とする次世代リーダーの育成活動に対する資金助成<公益事業2>

2024年度は15団体を採択した。各助成団体に対して、四半期毎の面談を実施して活動助成を行う。また、助成団体同士の交流を通じた学びの場としての交流会をオンラインで開催する予定。

15団体については「報告1」参照のこと。

★人材育成活動助成事業関連費

2023年度予算	2023年度実績見込	2024年度予算
1,545万円	1,545万円	1,865万円

<2024年度予算増加要因>:助成金申請額の増加のため

2024年度主要行事 年間予定表

	日 程	場 所
2024年		
新奨学生オリエンテーション	5月9日(木)、10日(金)	オンライン開催
大学3年生セミナー	5月18日(土)、19日(日)	L stay&grow 南砂町
大学院生セミナー	6月29日(土)、30日(日)	L stay&grow 南砂町
第46回理事会	6月5日(水)11:00～	帝国ホテル 蘭の間
第14回定時評議員会	6月21日(金)11:00～	帝国ホテル 松の間
大学奨学生選考委員会	8月上旬	未定
第6期「リーダー育英塾」	8月10日(土)～12日(月)	L stay&grow 南砂町
大学2年生セミナー	9月7日(土)、8日(日)	L stay&grow 南砂町
大学1年生セミナー	9月14日(土)～16日(月)	L stay&grow 南砂町
第30回資産運用委員会	10月18日(金)11:00～	未定
第47回理事会	11月21日(木)11:00～	未定
奨学生の集い2024	11月30日(土)	東京ドームホテル
リーダー育英塾カンファレンス2024	12月15日(日)	オンライン開催
2025年		
助成団体選考委員会	2月上旬	未定
第31回資産運用委員会	2月20日(木)	未定
修了生交流会2024	3月中旬	帝国ホテル(予定)
第48回理事会	3月下旬	帝国ホテル(予定)

以上